

兵庫県  
保険医協会

西宮  
芦屋  
支部ニュース

No. 339

2017・8・25

〒662-0832

発行 兵庫県保険医協会 西宮・芦屋支部  
西宮市甲風園一―一五 法貴皮膚科内  
連絡先 兵庫県保険医協会  
電話〇七八(三九三) 一八〇三

### 第37回支部総会・記念講演

# イスラムの歴史・暮らしを学ぶ

## 市民など130人が参加

西宮・芦屋支部は7月22日に第37回支部総会を開催。法西浩先生(西宮市・法西医院)が議長を務め、2016年度活動報告と2017年度活動方針が承認された。また、評議員として土山雅人先生(西宮市・つちやまクリニック)、林功先生(西宮市・林医院)、上田進久先生(西宮市)が、予備評議員として川野悦司先生(西宮市・川野クリニック)、森博雄先生(西宮市・森医院)が新たに選出された。

記念講演は「知られていないイスラムのこと 暴力の連鎖と混乱はどうして生まれるのか」と題し、サラハッディン大学(イラク・エルビル市)教授のアブドゥルラツハン・ギュルベヤズ氏が講演。医療機関関係者、市民ら130人が参加した。

ギュルベヤズ氏はイスラムについて①その歴史、②言語や暮らし、③ISとの関係、欧米への難民の状況、④日本との相互理解とこれからの見解について、イスラム教はキリスト教と同じく、ユダヤ教から派生した宗教で出身地も同じ中東であり、これら3つの宗教は別々のものではなく三兄弟のようなものである。キリスト教にとって正義の戦いと伝えられている十字軍の攻勢は、イスラム教の電光石火の拡大への反応でもあり、11世紀から2000年以上も続き十字軍が負けたが、この2世紀間のイスラム教への徹底的な接触は、結果的に西洋社会において近代西洋文明の地固



市民など130人が参加し熱心に聞き入った

めとなったとした。

言語や暮らしについては、現在イスラムの信者の数は十八億人を超え、これらの67%以上は、インドネシア、パキスタン、インド、バングラデシュ、エジプト、ナイジェリア、イラン、トルコ、アルジェリア、そしてモロッコに住んでおり、それらの国々のうち公用語がアラビア語である三つの国ではイスラム教徒の人口は約9%にすぎないので、「イスラム教の言語」というのは存在しないと説明。また、イスラム教特有の社会的構造や日常生活、人生観や自然観もそれぞれの国や社会の地理、経済、社会政治的に関連して異なるので、イスラム世界と一括りに呼ばれることが多いが適切ではないとした。

ISとイスラム教との関係については、①イスラム教徒からよく聞かれる「イスラム教とISの間には何一つ関係は無い」という意見と、②イスラム教とISとの間に



イスラム社会の多様性について講演するギュルベヤズ氏



広川先生が司会を務め(右)、大森先生が開会のあいさつ(中) 法貴支部長が謝辞を述べた(左)



## 世話人会だより

西宮・芦屋支部は7月28日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催。5人が参加した。

### 【報告】

- ①リスクマネジメント研究会 (7・8) 36人
- ②映画「飯館村の母ちゃんたち 土ととも」上映会・被災地物産展(7・8) 60人
- ③Medical English#50(7・14) 8人
- ④第37回支部総会(7・22) 130人

### 【予定・企画】

- ①プライマリケア研究会(8・26)
- ②胸部X P読映会(9・15)
- ③漢方研究会(10・7)

### 【予定・企画(日時未確定)】

- ①健康と医療について語り合う会

\*世話人会の日程は毎月第4金曜日です。支部についてのご意見や企画案などをお寄せください。

## 西宮・芦屋支部研究会のご案内

### 第17回胸部X-P読映会

日時 9月15日(金) 午後8時～  
 会場 西宮渡辺心臓・血管センター  
 講師 尼崎市・はら内科クリニック 原 秀樹 先生  
 司会 西宮市・橋野医院 橋野 盛彦 先生  
 参加費 無料

胸部X-P読影会の第17回目を開催いたします。

今回も西宮市立中央病院前副院長、尼崎市・はら内科クリニックの原秀樹先生をアドバイザーに、ご参加の先生方に持ち寄っていただいた胸部写真の検討会を行います。

ぜひご参加いただきたくご案内いたしますとともに、毎日の診療の中で検討してみたい胸部写真がございましたら、ぜひご持参ください(レントゲン写真のほか、パソコンデータをご持参いただいても結構です)。

### 第34回漢方研究会 「六君子湯の作用－グレリンを中心に」

日時 10月7日(土) 午後3時～  
 会場 西宮神社会館 福寿の間  
 講師 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 乾 明夫 先生  
 参加費 無料

六君子湯は、消化器症状に対して用いられてきた薬剤であり、食欲不振や体重減少を主徴とする悪液質への臨床応用も行われている。六君子湯の作用は、空腹ホルモングレリンを介することが知られている。

演者らは、病的老化マウスであるKlotho(クロトー)欠損マウス、SAM(サム)P8マウスおよび正常老化マウスであるICRマウスに六君子湯を長期投与し、その影響を検討した。クロトーはカルシウム代謝に深く関与し、クロトー欠損マウスは短命で異所性石灰化などの早発性老化の表現型を呈する。またサムは、老化徴候を有するマウスの交配により樹立され、P8は学習・記憶障害、免疫機能不全、概日リズムの異常などを呈する。六君子湯によるグレリンシグナリングの改善は、サーチュイン1を活性化させることにより、これら3系統の老化マウスの健康寿命を延長した。

六君子湯は、消化管機能の改善や緩和医療の領域で、個性光る薬剤と考えられる。多成分系の漢方を応用することにより、ポリファーマシーを避け得ることも大きなメリットであろう。(乾 明夫 記)

上記企画へのお問い合わせは協会事務局(TEL078-393-1809)岡林・山田まで



トークを行う古居みずえ監督(右)、当日は東北の物産品の販売も行われた(左)



西宮・芦屋支部は7月8日に協会会議室で「飯館村の母ちゃんたち 土とともに」上映会と第7回被災地物産・物品展を開催した。上映会では古居みずえ監督がトークを行い、60人が参加した。

## 映画『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』上映会 原発事故被害者の姿を知る機会に

この映画は、福島第一原発事故で福島県飯館村から全村避難のために仮設住宅で暮らすことになった二人の女性が、冗談を飛ばしながら互いに元気づける生活取材し、放射能汚染で故郷を奪われた哀しみを抱えながら生きる女性たちを丁寧に見つめていくドキュメンタリー。トークで監督の古居氏は「女性や子どもにも焦点をあて30年近くパレスチナ難民と続けた。本作でもパレスチナ難民と同様に故郷を奪われた哀しみを抱えながら、たくましく生きる女性たちを丁寧に見つめていくことを心がけた」とし、原発事故後6年以上になる避難の長期化による孤立や分断が深まる現状について考える機会にしてほしいと語った。

被災地物産・物品展では、東日本大震災被災地への支援と地域交流のため、岩手県宮古市「かけあしの会」からの物産品販売や、ちくちく工房のトードバッグ、会津もめんの作品展示販売が行われた。参加者の感想を掲載する。

- ・故郷に帰りたいけど帰ることができない、すべて原発が原因。人間は一人では生きていけない。「きずな」が分断されてしまった。自然災害は仕方がないとしても福島はそうではない。「原発」という人間が造りだした災害。2人の生きる力を感じました。原発事故から6年以上が過ぎ、避難指示

が解除されたというニュースが関西に伝えられ、関心を持たずにいると「事故は終わった」と思ってしまうようですが、実際に当事者のみなさんがどのような状況におかれているのかを知ることがなかなかできません。この映画を見て福島、被災地と原発事故被害者の姿を知ることができました。

・飯館村の皆さんのご苦労に涙がこぼれます。たかが電力を発生させる方法の違いでこれだけ被害をもたらす。原発ノーを叫ばずにはいられません。巨大津波を想定させる知見を無視して対策をせずにメルトダウンをさせた東電の罪は未来永劫許されません。被災者の皆さんのご健康をお祈り申し上げます。

・一瞬にして人間の歴史も文化も暮らしも人の関係性も途絶えさせてしまう原発の非情さを感じます。放射能の半減期の長さは、自然に生きるもの全ての生の長さとは相容れないものです。飯館村の母ちゃんたちが証明してくれました。核・原発の無い世界を今すぐ実現すべきです。

・福島事故はどこに起こってもおかしくないことです。私たちに起こっても不思議ではないことを福島や周辺の方達は体験し、耐えて暮らしてください。私一人の力では何もできませんが、自分たちの問題として考えていきたいと思っています。

・自然豊かな土地があの日を境に住めなくなりました。それでも日々明るく前向きに生きている「母ちゃんたち」に私たちが生きていることができるかぎりしていきたいと思えます。